




Dell 43 4K USB-C モニター ユーザーガイド

モデルU4320G
規制モデル：U4320Qt



-  **注釈**：注釈には、コンピュータをより有効に使用するために役立つ重要な情報が示されています。
-  **注意**：注意には、指示に従わなかった場合に起こり得るハードウェアへの損傷またはデータの損失が示されています。
-  **警告**：警告には、物的損害、身体への傷害、または死亡の可能性が示されています。

Copyright © 2019-2020 Dell Inc. またはその子会社。無断複写・転載を禁じます。Dell、EMC およびその他の商標は Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

目次

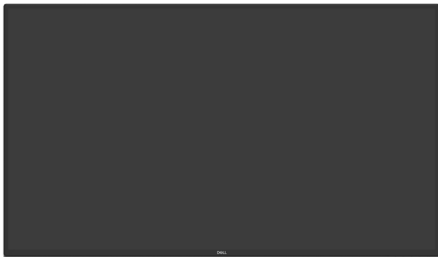

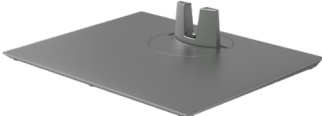



モニターについて	5
パッケージの内容	5
製品の特徴	6
部品とコントロールを識別する	7
モニターの仕様	10
プラグアンドプレイ	20
LCDモニターの品質とピクセルポリシー	20
モニターを設置する	21
スタンドを取り付ける	21
モニターを接続する	24
ケーブルを整理する	26
モニタースタンドを取り外す	26
壁取り付け (オプション)	27
モニターを操作する	28
モニターをオンにする	28
フロントパネルのコントロールを使用する	28
OSDロック機能を使用する	30
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを使用する	33
トラブルシューティング	51
セルフテスト	51
内蔵の診断機能	52

USB-C Charging (USB-C充電) がOn During Power Off (電源オフ時にオン) に設定されている時のUSB-C Prioritization (USB-C優先順位) の設定.53
PIP/PBPモード54
よくある問題55
製品に固有の問題56
付録58
安全に関する注意事項58
FCC通知 (米国のみ) およびその他の規制情報58
Dellへのお問い合わせ58
エネルギーラベルと製品情報シートに関するEU製品データベース59
モニターのセットアップ59
メンテナンスガイドライン61

モニターについて

パッケージの内容

モニターには、以下に示されているコンポーネントが同梱されています。すべてのコンポーネントが揃っていることを確認し、欠けているものがあれば [Dell](#) にお問い合わせください。

	ディスプレイ
	スタンドライザー
	スタンドベース
	電源ケーブル（国によって異なります）
	USB タイプ-C ケーブル (C to C)
	USB タイプ-C ケーブル (C to A)

	HDMI ケーブル
	DP ケーブル
	VESA マウントキット
	<ul style="list-style-type: none"> ・クイックセットアップガイド ・安全、環境および規制に関する情報

製品の特徴

Dell U4320Q モニターには、アクティブマトリックス、薄膜トランジスタ (TFT)、液晶ディスプレイ (LCD)、および LED バックライトが搭載されています。モニターの機能には次が含まれます：

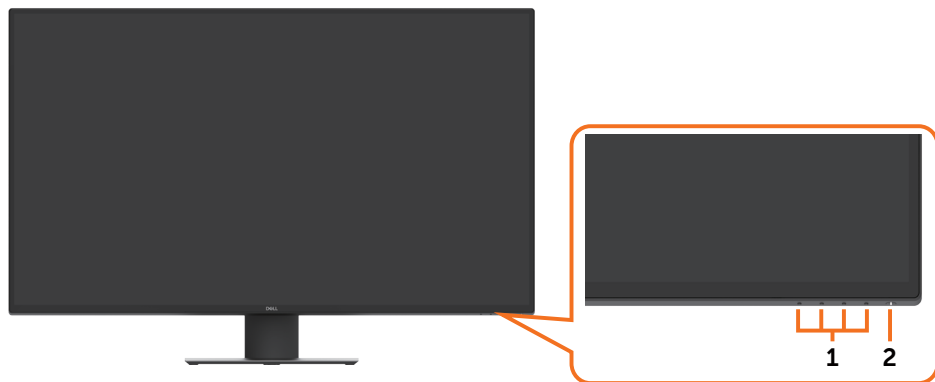
- ・ 107.975cm (42.51インチ) のアクティブエリアディスプレイ (対角に測定) に3840 x 2160 (16 : 9) の解像度、更に低解像度によるフル画面サポート。
- ・ 96% sRGBカラーによる広視野角。
- ・ 傾斜、回転、垂直延長調整機能。
- ・ 内蔵スピーカー (2x 8W) New Sunlink。
- ・ 取り外しできるペダスタルと、Video Electronics Standards Association (VESA™) の 100mmおよび200mmの取り付け穴が柔軟な取り付けを実現。
- ・ 超薄型ベゼルにより、マルチモニター使用時に生じるベゼルの隙間を最小限に抑えて設置を容易にし、エレガントな視聴を実現します。
- ・ HDMIおよびDPを使用した広範なデジタル接続が、モニターの将来性を確保します。
- ・ ビデオ信号の受信中に、単一のUSB タイプ C が互換性のあるラップトップに電力を供給します。
- ・ システムが対応している場合、プラグアンドプレイ機能をサポート。
- ・ セットアップと画面の最適化を容易にするオンスクリーンディスプレイ (OSD) 調整。
- ・ 電源ボタンとOSDボタンのロック機能。
- ・ セキュリティ固定スロット。
- ・ スタンバイモードで ≤ 0.3 W。
- ・ ちらつきのない画面で目の快適さを最大限に保ちます。



注釈：モニターからの長時間にわたるブルーライトの放出により、目の疲労やデジタル眼精疲労など、目の損傷が生じることがあります。ComfortView機能は、モニターから放出されるブルーライト量を減らして、目の快適さを最大限に保つように設計されています。

部品とコントロールを識別する

前面図



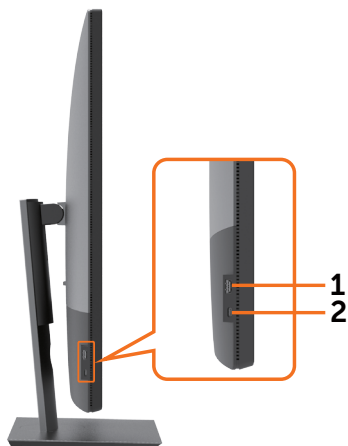
ラベル	説明
1	機能ボタン (詳細は モニターを操作する を参照)
2	電源オン/オフボタン (LEDインジケーター付き)


背面図



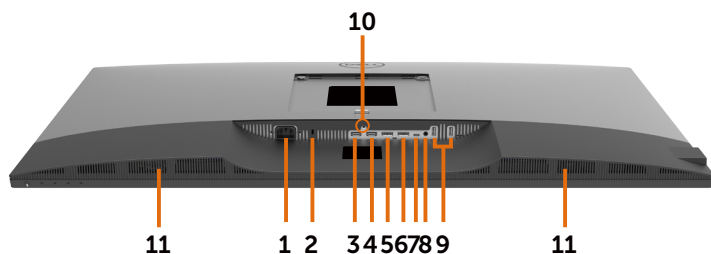
ラベル	説明	使用
1	VESA マウント用穴 (100 mm x 100 mm および 200 mm x 200 mm- 取り付けられた VESA カバーの後ろ)	VESA に対応した壁取り付けキット (100 mm x 100 mm および 200 mm x 200 mm) を使用して壁に取り付けたモニター。
2	規制ラベル	規制当局からの認可をリスト表示します。
3	スタンドリリースボタン	モニターからスタンドを外します。
4	バーコード、シリアル番号、サービスタグラベル	Dell にテクニカルサポートを要請する際にはこのラベルを参照します。
5	ケーブル管理スロット	ケーブルは、このスロットに通してまとめます。


側面図



ラベル	説明	使用
1	USB ダウンストリームポート	 バッテリーアイコンが付いたポートは BC 1.2 に対応します。
2	USB タイプ C ダウンストリームポート	 アイコンが付いたポートは 5 V/3 A に対応します。

底面図



ラベル	説明	使用
1	AC 電源ポート	モニター電源ケーブルに接続します。
2	セキュリティ固定スロット	モニターをセキュリティケーブルロックで固定します (別売)。
3	HDMI 1 ポート	HDMI ケーブルを使用してコンピュータを接続します。
4	HDMI 2 ポート	HDMI ケーブルを使用してコンピュータを接続します。
5	DP 1 ポート	DP ケーブルを使用してコンピュータを接続します。
6	DP 2 ポート	DP ケーブルを使用してコンピュータを接続します。
7	USB タイプ -C/ DisplayPort	<p>USB タイプ C ケーブルを使用してコンピュータを接続します。</p> <p>USB 3.1 タイプ C ポートは最速の転送速度を提供し、DP 1.4 を使用した代替モードは最大解像度 3840 x 2160 をサポートします (60 Hz、PD* 20 V/4.5 A、15 V/3 A、9 V/3 A、5 V/3 A 時)。</p> <p>*PD：電力供給。 注釈：USB タイプ C は、Windows 10 より以前の Windows バージョンではサポートされていません。</p>
8	オーディオライン出力ポート	<p>USB タイプ C、DP、または HDMI オーディオチャネルを介して入力される再生オーディオにスピーカーを接続します。</p> <p>2 チャンネルオーディオのみをサポートします。</p> <p>注釈：オーディオライン出力ポートはヘッドフォンに対応していません。</p>
9	USB タイプ A ポート (2)	<p>USB デバイスを接続します。</p> <p> アイコンが付いたポートは 5 V/0.9 A に対応します。</p>
10	スタンドロック	M3 x 6 mm ネジを使用してスタンドをモニターに固定します (ネジは同梱されていません)。
11	内蔵スピーカー	オーディオ入力からの音を出力します。

モニターの仕様

画面タイプ	Active matrix - TFT LCD
パネルタイプ	面内切替技術
アスペクト比	16:9
表示可能な画像寸法	
対角線	1079.75 mm (42.51 インチ)
アクティブエリア	
水平	941.18 mm (37.05 インチ)
垂直	529.42 mm (20.84 インチ)
エリア	498279.5 mm ² (772.12 平方インチ)
ピクセルピッチ	0.2451 mm x 0.2451 mm
1インチあたりのピクセル数 (PPI)	103.23
視野角	
水平	178° (標準)
垂直	178° (標準)
輝度	350 cd/m ² (標準)
コントラスト比	1000 対 1 (標準)
ディスプレイ画面のコーティング	フロント偏光子 (3H) ハードコーティングをアンチグレア処理
バックライト	LED
応答時間 (グレーからグレー)	5 ms (高速モード) 8 ms (通常モード)
色深度	10 億 6,000 万色
色域 *	96% sRGB
接続性	底面図 • 2 x HDMI2.0 • 2 x DP 1.4 (HDCP 2.2) • 1 x USB タイプ C (DisplayPort 1.4、USB 3.1 アップストリームポート、最大 90W の電力配給 PD を備えた代替モード) • 1 x アナログ 2.0 オーディオライン出力 (3.5 mm ジャック) • 2 x USB-A, USB 3.1 Gen 1 (5 Gbps) クイックアクセス (側面図) • 1 x 2A (最大) で BC1.2 充電機能を備えた USB 3.1 • 1 x USB タイプ C ダウンストリーム (15 W)、USB3.1 Gen 1 (5 Gbps)

境界線の幅（モニターの端からアクティブエリアまで）	13.0 mm（上） 13.0 mm（左／右） 22.0 mm（下）
調整機能	
高さを調節できるスタンド	60 mm
傾斜	-5° ～ 10°
回転	-20° ～ 20°
ケーブル管理	はい
Dell ディスプレイマネージャー（DDM：Dell Display Manager）との互換性	簡単アレンジ およびその他の主要な機能
セキュリティ	セキュリティ固定スロット（ケーブルロックは別売） 盗難防止スタンド固定スロット（パネルに固定）

* パネルネイティブのみ、カスタムモードプリセット時。

解像度の仕様

水平スキャン範囲	30 khz ～ 140 khz
垂直スキャン範囲	29 Hz ～ 76 Hz
最大プリセット解像度	3840 x 2160 (60 Hz 時)
ビデオ表示機能 (HDMI、DP、USB タイプC 再生)	480p、576p、720p、1080i、1080p、2160p

プリセット表示モード

表示モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (水平/垂直)
720 x 400	31.5	70.0	28.3	-/+
VESA、 640 x 480	31.5	60.0	25.2	-/-
VESA、 640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA、 800 x 600	37.9	60.3	40.0	+/+
VESA、 800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA、 1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA、 1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA、 1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA、 1280 x 800	49.7	60.0	83.5	+/+
VESA、 1280 x 1024	64.0	60.0	108.0	+/+
VESA、 1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA、 1600 x 1200	75.0	60.0	162.0	+/+
VESA、 1680 x 1050	65.29	60.0	146.25	-/+
VESA、 1920 x 1080	67.5	60.0	148.5	+/+
VESA、 1920 x 1200	74.04	60.0	154	+/-
VESA、 2048 x 1080	26.37	24.0	58.23	+/-
VESA、 2048 x 1152	70.99	60.0	156.75	+/-
VESA、 2048 x 1280	78.92	60.0	174.25	+/-
CVR、 2560 x 1440	88.8	60.0	241.5	+/-
VESA、 3840 x 2160	54	24.0	297	+/-
VESA、 3840 x 2160	56.25	25.0	297	+/-
VESA、 3840 x 2160	67.5	30.0	297	+/-
VESA、 3840 x 2160	112.5	50.0	594	+/-
VESA、 3840 x 2160	135	60.0	594	+/-
VESA、 3840 x 2160	133.31	60.0	533	+/-

電氣的仕様

ビデオ入力信号	・各差動線路にデジタルビデオ信号 1差動線路あたり100オームのインピーダンス ・HDMI/DP/USB タイプC信号入力に対応
入力電圧/周波数/電流	100-240 VAC / 50または60 Hz ± 3 Hz / 3.3 A (最大)
突入電流	120 V: 30 A (最大) 240 V: 60 A (最大)
消費電力	0.2 W (オフモード) ¹ 0.3 W (スタンバイモード) ¹ 64.3 W (オンモード) ¹ 260 W (最大) ² 50.44 W (P _{on}) ³ 157.89 kWh (TEC) ³

¹ EU 2019/2021およびEU 2019/2013で定められた通り。

² すべてのUSBポートに最大電力負荷をかけた状態で、輝度とコントラストを最大に設定。

³ P_{on}: Energy Star バージョン 8.0 において定義される通りのモードの電力消費。

TEC: Energy Star バージョン 8.0 において定義される通りの合計エネルギー消費量 (kWh)。

本書は情報提供のみを目的としており、実験室での性能を記載しております。お買い求めになった製品はご注文されたソフトウェア、コンポーネント、周辺機器によっては異なる性能を示すことがあります。かかる情報を更新する義務はその製品にありません。そのため、電気の許容範囲やその他について意志決定するとき、お客様はこの情報に頼るべきではありません。精度または完全性に関しては、明示的にも黙示的にも何の保証もありません。

 注意: ENERGY STAR 認定モニター。





本製品は工場出荷時の設定でENERGY STARに適合しており、OSDメニューにある「工場出荷時の値にリセット」機能を使って復元することができます。工場出荷時の設定を変更したり、他の機能を有効にすると、消費電力がENERGY STARで指定されている限界値を超えた値に増大する可能性があります。

スピーカーの仕様

スピーカー定格出力	2 x 8 W
周波数応答	100 Hz - 20 kHz
インピーダンス	6Ω

物理的特徴

コネクタタイプ	<ul style="list-style-type: none">・ HDMI コネクタ・ DP コネクタ・ USB タイプ -C コネクタ・ オーディオライン出力・ USB 3.1 ダウンストリームポートコネクタ x 3 ( バッテリーアイコンが付いたポートは BC 1.2 に対応します。)・ USB タイプ C ダウンストリームコネクタ x 1 ( アイコンが付いたポートは 5 V/3 A に対応します)
信号ケーブルの種類	HDMI 1.8M ケーブル DP to DP 1.8M ケーブル USB タイプ -C (C to C) 1.0M ケーブル USB タイプ -C (C to A) 1.8M ケーブル
寸法 (スタンド付き)	
高さ (延長時)	655.2 mm (25.80 インチ)
高さ (縮小時)	595.2 mm (23.43 インチ)
幅	967.2 mm (38.08 インチ)
奥行	249.0 mm (9.80 インチ)
寸法 (スタンドなし)	
高さ	564.4 mm (22.22 インチ)
幅	967.2 mm (38.08 インチ)
奥行	59.0 mm (2.30 インチ)
スタンド寸法	
高さ (延長時)	499.5 mm (19.67 インチ)
高さ (縮小時)	439.5 mm (17.30 インチ)
幅	320.0 mm (12.60 インチ)
奥行	249.0 mm (9.80 インチ)
重量	
重量 (パッケージング込み)	25.6 kg (56.44 ポンド)

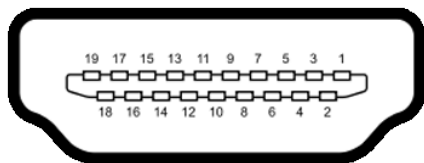
重量 (スタンドアセンブリとケーブル込み)	17.6 kg (38.80 ポンド)
重量 (スタンドアセンブリなし) (壁マウントまたはVESAマウント考慮時-ケーブルなし)	13.2 kg (29.10 ポンド)
スタンドアセンブリの重量	4.0 kg (8.82 ポンド)

環境特性

適合規格	
<ul style="list-style-type: none"> ENERGY STAR認定モニター。 適用される場合、EPEATに登録済み。EPEATへの登録は国によって異なります。国ごとの登録状況については、www.epeat.netを参照してください。 RoHSに適合 BFR/PVCフリーモニター (外部ケーブルを除く) NFPA 99の漏れ電流要件に適合 パネルのみ無ヒ素ガラスと水銀未使用 	
温度	
稼働時	0 ° C ~ 40 ° C (32 ° F ~ 104 ° F)
非稼働時	-20 ° C ~ 60 ° C (-4 ° F ~ 140 ° F)
湿度	
稼働時	10% ~ 90% (結露なし)
非稼働時	5% ~ 90% (結露なし)
高度	
稼働時	5,000 m (16,404フィート) (最大)
非稼働時	12,192 m (40,000フィート) (最大)
熱散逸	877.74 BTU/時間 (最大) 219.40 BTU/時間 (オンモード)

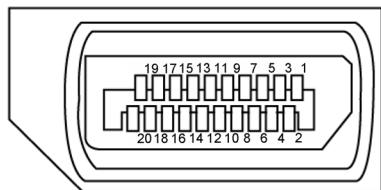
ピンの割当

HDMIポート



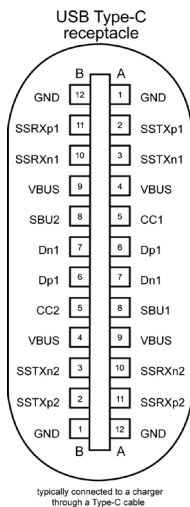
ピン番号	接続した信号ケーブルの19ピン側
1	TMDS データ 2+
2	TMDS データ 2 シールド
3	TMDS データ 2-
4	TMDS データ 1+
5	TMDS データ 1 シールド
6	TMDS データ 1-
7	TMDS データ 0+
8	TMDS データ 0 シールド
9	TMDS データ 0-
10	TMDS クロック+
11	TMDS クロック シールド
12	TMDS クロック-
13	CEC
14	予約済み (デバイスのN.C.)
15	DDC クロック (SCL)
16	DDC データ (SDA)
17	DDC/CEC グラウンド
18	+5 V 出力
19	ホットプラグ検出

DPポート



ピン番号	接続した信号ケーブルの20ピン側
1	ML3(n)
2	GND
3	ML3(p)
4	ML2(n)
5	GND
6	ML2(p)
7	ML1(n)
8	GND
9	ML1(p)
10	ML0(n)
11	GND
12	ML0(p)
13	CONFIG1
14	CONFIG2
15	AUX CH (p)
16	GND
17	AUX CH (n)
18	ホットプラグ検出
19	リターン
20	DP_PWR




USB タイプC ポート



ピン	信号	ピン	信号
A1	GND	B12	GND
A2	SSTXp1	B11	SSRXp1
A3	SSTXn1	B10	SSRXn1
A4	VBUS	B9	VBUS
A5	CC1	B8	SBU2
A6	Dp1	B7	Dn1
A7	Dn1	B6	Dp1
A8	SBU1	B5	CC2
A9	VBUS	B4	VBUS
A10	SSRXn2	B3	SSTXn2
A11	SSRXp2	B2	SSTXp2
A12	GND	B1	GND



ユニバーサル・シリアル・バス (USB)


このセクションでは、モニターで利用できるUSBポートについて説明します。

 **注釈：**BC1.2対応デバイスを備えたUSBダウンストリームポート（ バッテリーアイコンのあるポート）で最大2A。5V/3A対応デバイスを備えたUSBタイプCダウンストリームポート（ アイコン付きポート）で最大3A。

コンピュータには以下のUSBポートが備わっています：

- 4個のダウンストリーム - 左側に2個、下側に2個。

電源充電ポート -  バッテリーアイコンのあるポートは、デバイスがBC 1.2に対応している場合、高速電流充電機能をサポートします。 アイコンのあるUSBタイプCダウンストリームポートは、デバイスが5V/3Aに対応している場合、高速電流充電機能をサポートします。

 **注釈：**モニターの USB ポートは、モニターがオンモードかスタンバイモードにある場合にのみ機能します。スタンバイモードでは、USBケーブル（タイプ-C - タイプ-C）が接続されている場合にUSBポートが正常に機能します。それ以外の場合はUSBのOSD設定に従ってください。設定が「スタンバイ中にオン」の場合はUSBが正常に機能しますが、それ以外の場合はUSBは無効になります。モニターをオフにしてから再びオンにした場合、接続されている周辺機器が通常の機能を再開するまでに数秒時間がかかる場合があります。

転送速度	データレート	最大消費電力（各ポート）
SuperSpeed	5 Gbps	4.5 W
ハイスピード	480 Mbps	2.5 W
フルスピード	12 Mbps	2.5 W

USBダウンストリームポート



ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	VBUS	6	StdA_SSRX+
2	D-	7	GND_DRAIN
3	D+	8	StdA_SSTX-
4	GND	9	StdA_SSTX+
5	StdA_SSRX-	シェル	シールド

プラグアンドプレイ




モニターは、任意のプラグアンドプレイ対応システムに設置できます。モニターがディスプレイデータチャンネル（DDC）プロトコルを使用して、コンピューターシステムに拡張ディスプレイ識別データ（EDID）を自動的に提供するため、コンピューターはコンピューター自身で構成を実行し、モニター設定を最適化することができます。ほとんどのモニターの設置は自動で行われます。必要に応じて、異なる設定を選択できます。モニター設定を変更するための詳細については、[モニターを操作する](#)を参照してください。

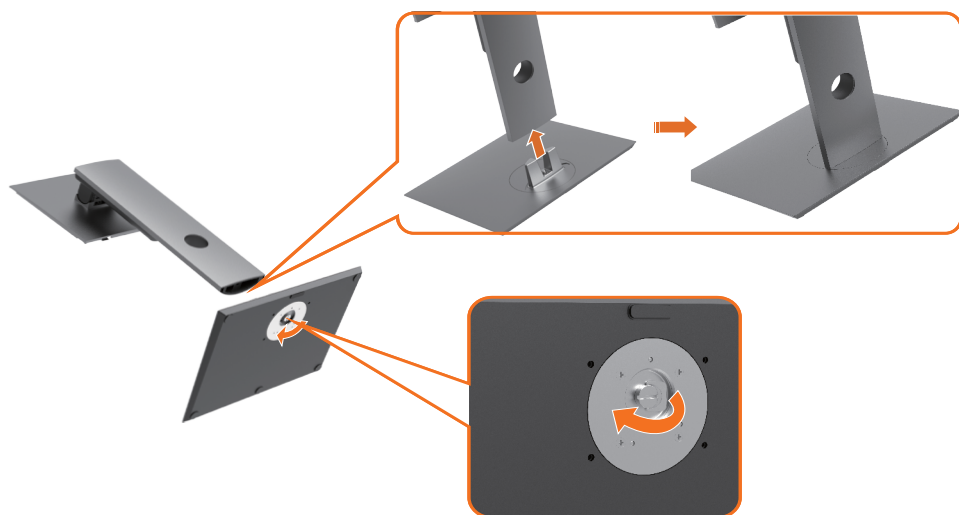
LCDモニターの品質とピクセルポリシー

LCDモニターの製造工程中、1つまたは複数のピクセルが不変の状態に固定されることがよくありますが、これは目視で確認することが難しく、ディスプレイの品質や使用感に影響することはありません。LCDモニターのピクセルポリシーに関する詳細については、[Dell サポートサイト（www.dell.com/support/monitors）](http://www.dell.com/support/monitors)を参照してください。

モニターを設置する

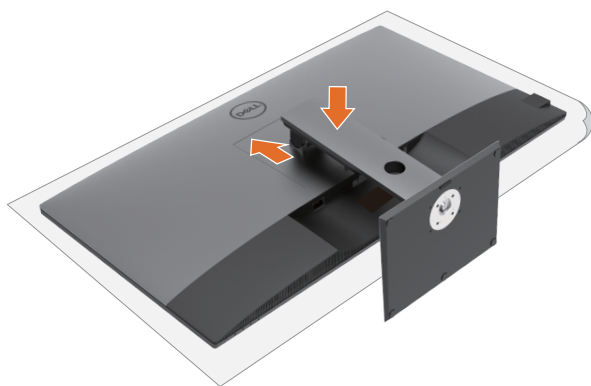
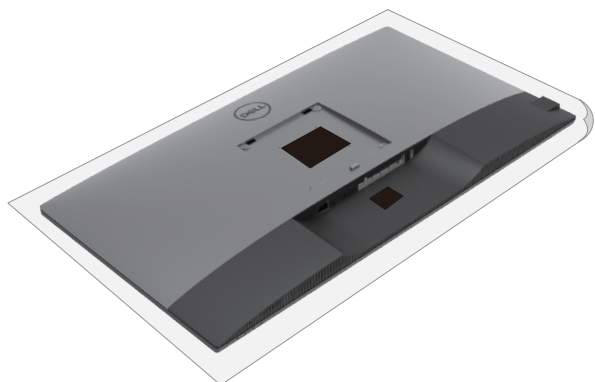
スタンドを取り付ける

-  **注釈：**工場からモニターを出荷する際には、スタンドライザーとスタンドベースが取り外された状態で出荷されます。
-  **注釈：**以下の手順は、デフォルトのスタンド向けです。他のスタンドを購入された場合は、スタンドに付属するマニュアルを参照して取り付けてください。
-  **注意：**モニターは水平で清潔な、柔らかい表面に置き、ディスプレイパネルに傷を付けないようにしてください。



モニタースタンドを取り付ける：


- 1 スタンドベースの突き出たブロック部分をスタンドの専用スロットに合わせます。
- 2 スタンドベースのブロックをスタンドのスロットに完全に挿入します。
- 3 ネジハンドルを持ち上げて、ネジを時計回りに回します。
- 4 完全にネジが締まったら、くぼみの中に収まるようにネジハンドルを平らに折ります。



モニタースタンドを取り付ける：

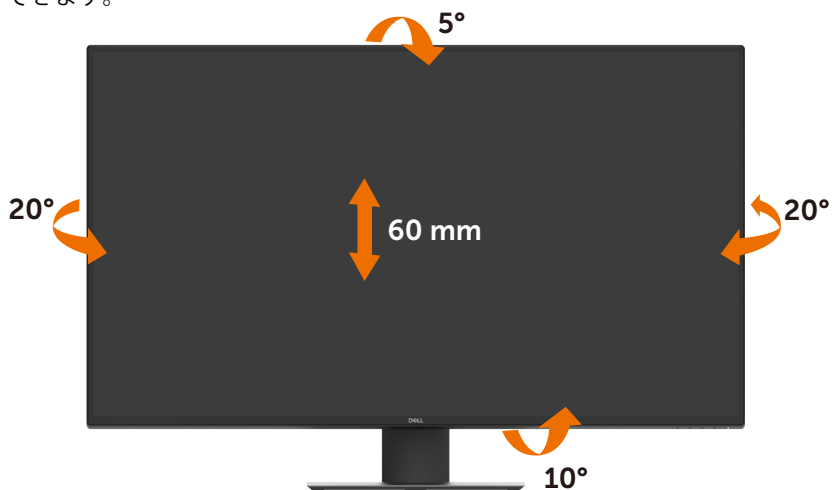
- 1 モニターの前面が下向きになるようにして置き、カバーを持ち上げて、スタンドアセンブリ用のVESAエリアが見えるようにうにします。
- 2 スタンド上部にある2つのタブを、モニターの背面にある溝に挿入します。
- 3 所定の位置にカチッと収まるまで、スタンドを押しつけます。


傾斜、回転、垂直延長調整機能を使用する

 **注釈：**スタンド付きモニター用の説明です。他のスタンドを購入されている場合は、該当するスタンドの設置ガイドを参照してください。

傾斜、回転、垂直延長調整機能

モニターにスタンドが付いている場合、最も見やすい角度になるようにモニターを傾けることができます。



 **注釈：**工場から出荷する際には、スタンドが取り外された状態で出荷されます。

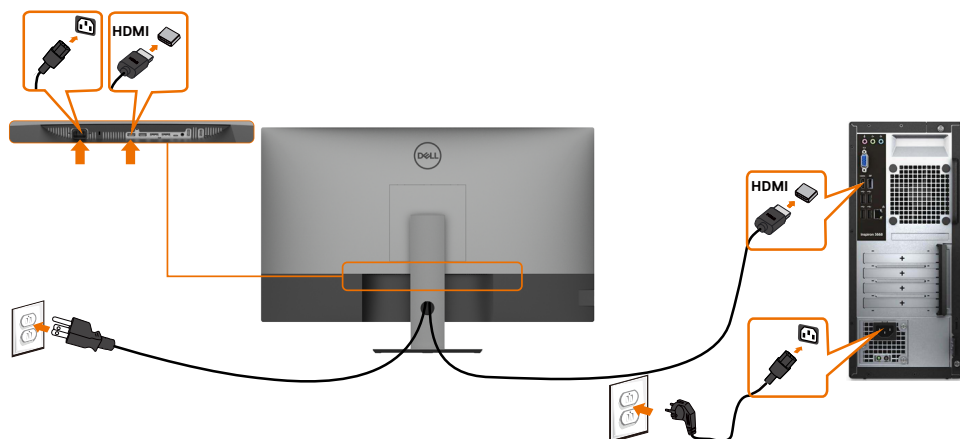
モニターを接続する

⚠ 警告：このセクションの手順を開始する前に、**安全上の注意**に従ってください。

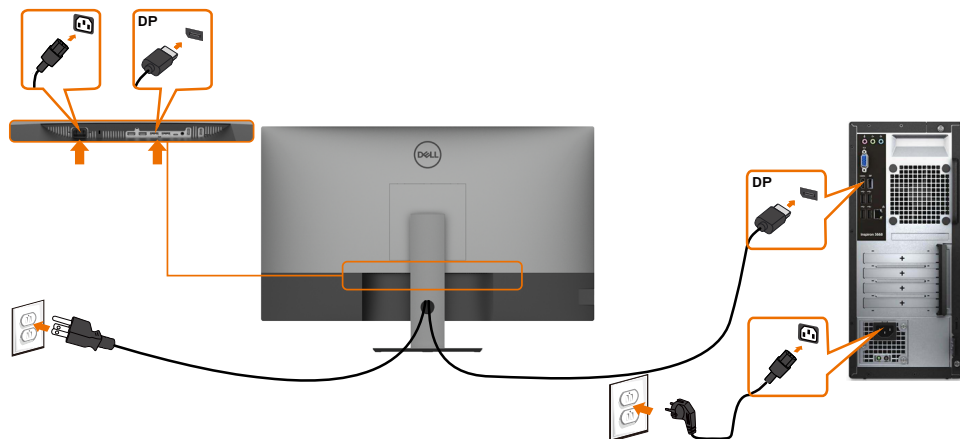
モニターをコンピュータに接続します：

- 1 コンピューターの電源を切ります。
- 2 モニターからのHDMI/DP/USB タイプCケーブルをコンピュータに接続します。
- 3 モニターの電源を入れます。
- 4 モニターのOSDメニューから正しい入力ソースを選択し、コンピュータの電源を入れます。

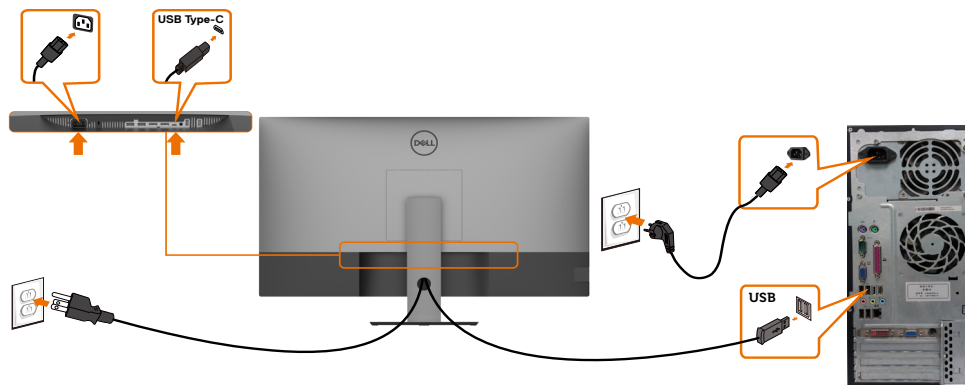
HDMIケーブルを接続する



DPケーブルを接続する



USB タイプCケーブルを接続する (C to A)



注釈：この接続の場合、データのみが利用可能となり、ビデオは利用できません。表示するためには別のビデオ接続が必要です。

USB タイプ-Cケーブルを接続する (C to C)



モニターのUSB タイプCポート（下部）は：

- ・ 代わりに、USB タイプCとして、またはDisplayPort 1.4として使用できます。
- ・ 最大90WのプロファイルでUSB電力供給（PD）に対応します。

注釈：ラップトップの電力要件/実際の電力消費量、またはバッテリーの残りの電力ランタイムに関係なく、Dell U4320Qモニターは最大90Wの電力をラップトップに供給するように設計されています。

定格電力（PowerDeliveryを備えたUSBタイプCを搭載したラップトップ）	最大充電電力
45 W	45 W
65 W	65 W
90 W	90 W
130 W	未対応

ケーブルを整理する



必要なすべてのケーブルをモニターとコンピュータに接続した後（ケーブルの接続については[モニターを接続する](#)を参照）、すべてのケーブルを上記に示されている通りに整理します。

モニタースタンドを取り外す



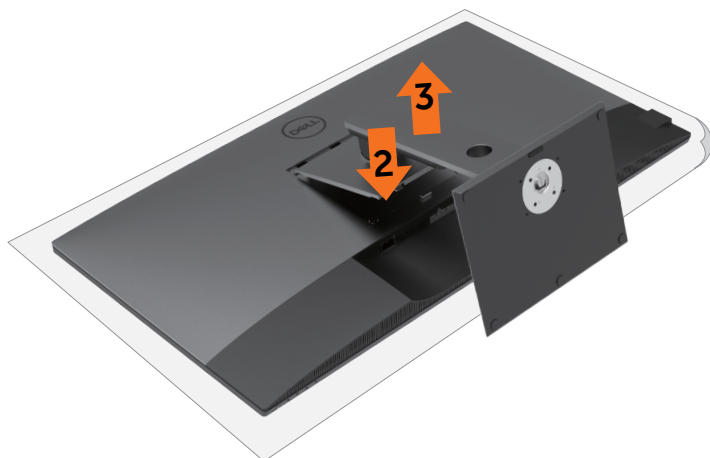
注意：スタンドを取り外す際に液晶画面に傷が付かないように、モニターは、柔らかく清潔な表面に置くようにしてください。



注釈：以下の手順は、デフォルトのスタンド向けです。他のスタンドを購入された場合は、スタンドに付属するマニュアルを参照して取り付けてください。

スタンドを取り外す：

- 1 モニターを柔らかい布かクッションの上に置きます。
- 2 スタンドリリースボタンを長押しします。
- 3 スタンドを持ち上げて、モニターから外します。



壁取り付け (オプション)



注釈： M6 x 12 mm (200 mm x 200 mm) または M4 x 12 mm (100 mm x 100 mm) ネジを使用して、モニターを壁取り付けキットに接続します。

VESAに対応した壁取り付けキットに付属の説明書を参照してください。

- 1 柔らかい布かクッションを置いた、水平で安定した台の上にモニターを置きます。
- 2 スタンドを外します。
- 3 フィリップス型プラススクロッドドライバーを使用して、プラスチックカバーを固定している4本のネジを取り外します。
- 4 壁取り付けキットにある取り付け用ブラケットをモニターに取り付けます。
- 5 壁取り付けキットに付属の説明書に従って、モニターを壁に取り付けます。

注釈： 最低でも52.8 kg (116.40ポンド) の重量/耐荷重能力を備えたUL、CSAまたはGSに記載されている壁取り付け用ブラケットのみを使用してください。

モニターを操作する

モニターをオンにする

🔘 ボタンを押してモニターの電源を入れます。



フロントパネルのコントロールを使用する

モニターの下面にあるコントロールボタンを使用して、表示されている画像の特性を調整します。これらのボタンを使用してコントロールを調整すると、OSDには変化する特性の数値が表示されます。

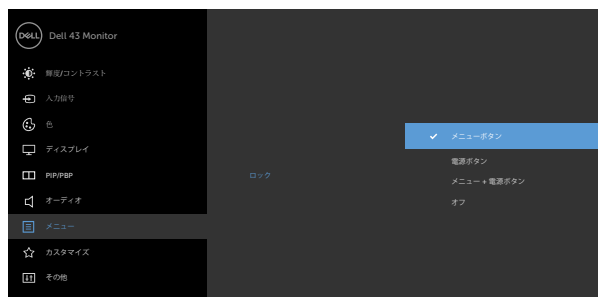


次の表は、フロントパネルのボタンについて説明したものです：

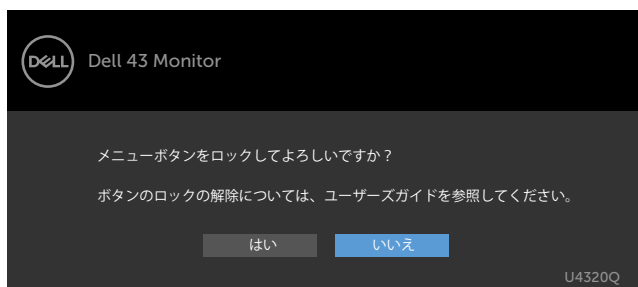
フロントパネルのボタン	説明
1  Shortcut key (ショートカットキー): Preset Modes (プリセットモード)	このボタンを使用して、プリセットカラーモードの中から選びます。
2  Shortcut key (ショートカットキー): Volume (音量)	このボタンを使用して、音量の値を選びます。
3  Menu (メニュー)	このメニューボタンを使用して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) を起動し、OSDメニューを選択します。 メニューシステムにアクセスする を参照してください。
4  Exit (終了)	このボタンを使用して、メインメニューに戻るか、OSDのメインメニューを終了します。
5  電源ボタン (電源ステータスライト付き)	モニターのオン・オフを切り替えます。 白くライトが点灯した場合、モニターがオンで正常に機能していることを示します。ライトが白く点滅する場合は、モニターがスタンバイモードであることを示しています。

OSDロック機能を使用する



モニターのコントロールボタンをロックすることで、他者がコントロールにアクセスできないようにすることができます。また、複数台のモニターの水平2分割セットアップを誤って実行してしまうこともなくなります。




1. 次のメッセージが表示されます：




2. 「はい」を選択してボタンをロックします。以下の表は、コントロールアイコンについて説明したものです：


オプション	説明
1  Menu Buttons lock (メニューボタンのロック)	このアイコンを使用して、OSDメニュー機能をロックします。
2  Power Button lock (電源ボタンのロック)	このアイコンを使用して、電源がオフにならないように電源ボタンをロックします。

3  このアイコンを使用して、電源がオフにならないようにOSDメニューと電源ボタンをロックします。

Menu and Power Buttons lock (メニューと電源ボタンのロック)


4  このアイコンを使用して、内蔵の診断機能を実行します。 [内蔵の診断機能](#)を参照してください。

Built-in Diagnostics (内蔵の診断機能)


3.  を4秒間長押しして、ロック解除アイコンについて説明する次の表から選択します：

オプション


説明

1  このアイコンを使用して、OSDメニュー機能のロックを解除します。

Menu Buttons lock (メニューボタンのロック)

2  このアイコンを使用して、電源がオフにならないように電源ボタンのロックを解除します。

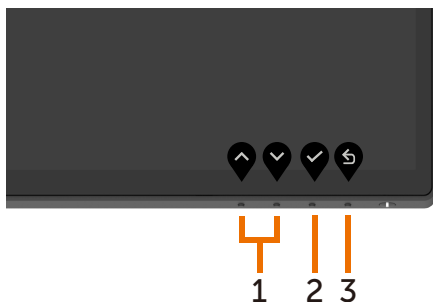
Power Button lock (電源ボタンのロック)





3  このアイコンを使用して、電源がオフにならないようにOSDメニューと電源ボタンのロックを解除します。

Menu and Power Buttons lock (メニューと電源ボタンのロック)

フロントパネルのボタン

モニターの前面にあるボタンを使用して、画像設定を調整します。




フロントパネルのボタン	説明
1   Up (上) Down (下)	Up (上) (増やす) および Down (下) (減らす) キーを使用して、OSDメニューの項目を調整します。
2  OK	OKボタンを使用して、選択を確定します。
3  Back (戻る)	Back (戻る) ボタンを押して前のメニューに戻ります。












オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを使用する

メニューシステムにアクセスする

注釈：OSDメニューを使って実施した変更は、別のOSDメニューに移動したり、OSDメニューを終了したり、OSDメニューの表示が消えるまで待機したりしている間に自動的に保存されます。

- 1  ボタンを押してOSDメニューを起動し、メインメニューを表示します。



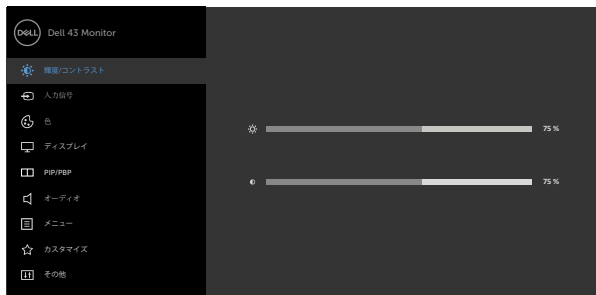
- 2  と  ボタンを押してオプション間を移動します。あるアイコンから別のアイコンに移動すると、オプション名がハイライト表示されます。
- 3 、 または  ボタンを1回押して、ハイライト表示されたオプションを有効にします。
- 4  と  ボタンを押して、必要なパラメーターを選択します。
- 5  を押してスライダーに入り、メニューのインジケーターに従って  または  ボタンを使用して変更を加えます。
- 6  を選択して前のメニューに戻るか、受け入れて前のメニューに戻ります。

アイコン メニューとサブメニュー 説明



**Brightness/
Contrast**
(輝度/コントラスト)

このメニューを使用して、**Brightness/Contrast (輝度/コントラスト)**の調整を有効にします。



Brightness
(輝度)

Brightness (輝度)はバックライトの輝度を調整します (最小0、最大100)。

輝度を増やすには ボタンを押します。

輝度を減らすには ボタンを押します。

Contrast
(コントラスト)

最初に **Brightness (輝度)** を調整してから、さらに調整が必要な場合にのみ **Contrast (コントラスト)** を調整します。

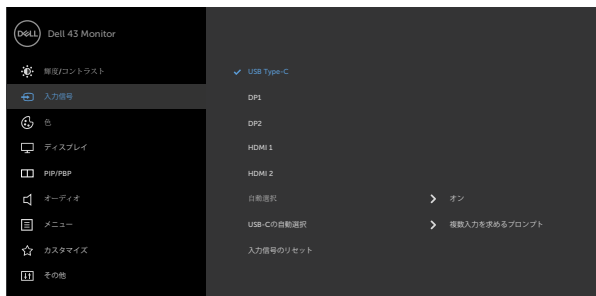
コントラストを増やすには ボタンを押し、コントラストを減らすには ボタンを押します (0~100)。

コントラストは、モニターの暗さと明るさの差を調整します。



Input Source
(入力信号)

Input Source (入力ソース)メニューを使用して、モニターに接続されているさまざまなビデオ入力の中から選択します。



アイコン	メニューとサブメニュー	説明
	USB Type-C	USB タイプCコネクタを使用している場合は USB Type-C (USB タイプC) 入力を選択します。 ✔️を使用して、USB タイプC入力ソースを選択します。
	DP1	DP1 (DisplayPort) コネクタを使用している場合は DP1 入力を選択します。 ✔️を使用してDP1入力ソースを選択します。
	DP2	DP2 (DisplayPort) コネクタを使用している場合は DP2 入力を選択します。 ✔️を使用してDP2入力ソースを選択します。
	HDMI 1	HDMI 1コネクタを使用している場合は HDMI 1 入力を選択します。 ✔️を使用してHDMI 1入力ソースを選択します。
	HDMI 2	HDMI 2コネクタを使用している場合は HDMI 2 入力を選択します。 ✔️を使用してHDMI 2入力ソースを選択します。
	Auto Select (自動選択)	✔️を使用して Auto Select (自動選択) を選択します。モニターが使用可能な入力ソースをスキャンします。
	Auto Select for USB-C (USB-Cの自動選択)	USB タイプCの自動選択を次のように設定できます： <ul style="list-style-type: none"> • Prompt for Multiple Inputs (複数入力のプロンプト)：ユーザーが切り替えるかどうかを選択できるように、常にUSB タイプCビデオ入力への切り替えメッセージを表示します。 • Yes (はい)：USB タイプCが接続されている間、モニターは確認することなく、USB タイプCビデオに常に切り替えます。 • No (いいえ)：モニターは、使用できる別の入力からUSB タイプCビデオに自動的に切り替わりません。
	Reset Input Source (入力信号のリセット)	モニターの入力ソース 設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。

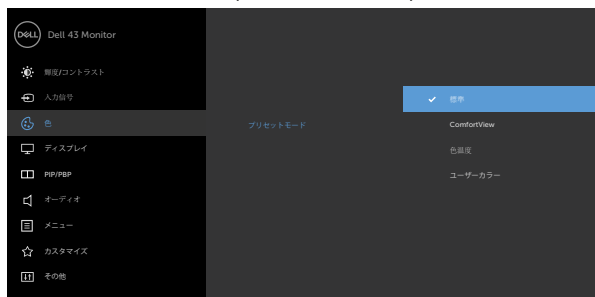




Color (色)

Color (カラー)メニューを使用して、カラー設定モードを調整します。



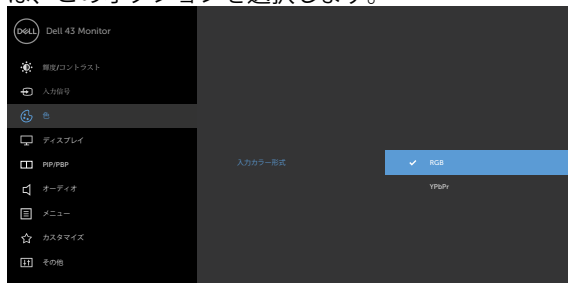
Preset Modes (プリセットモード) Preset Modes (プリセットモード)を選択すると、リストの中から**Standard (標準)**、**ComfortView**、**Color Temp. (色温度)**または**Custom Color (カスタムカラー)**を選択できます。



- **Standard (標準)**：デフォルトのカラー設定。これはデフォルトのプリセットモードです。
- **ComfortView**：目がより快適な状態で視聴できるように、画面から放出されるブルーライト量を減らします。
注釈：長時間にわたるモニターの使用が原因で生じる眼精疲労や首/腕/背中/肩の痛みのリスクを減らすため、以下を推奨します：
 - 画面は目から50～70cm (20～28インチ) 程度離れた場所に設置してください。
 - モニターを使って作業する時には、目を湿らせる、または濡らすため、頻繁にまばたきしてください。
 - 2時間ごとに20分間の休憩を定期的かつ頻繁に取ってください。
 - 休憩中は、モニターから目を離し、20フィート (約6メートル) 先にある物を最低でも20秒間は見つめてください。
 - 首/腕/背中/肩の緊張を和らげるため、休憩中にストレッチを行ってください。
- **Color Temp. (色温度)**：画面は、赤/黄色の色合いでスライダーが5,000K、5,700K、6,500K、7,500K、9,300Kに設定された場合に暖かい色味で表示され、スライダーが青の色合いで10,000Kに設定された場合に冷たい色味で表示されます。
- **Custom Color (カスタムカラー)**：カラー設定を手動で調整できます。 と  ボタンを押して、赤、緑、青の値を調整し、独自のプリセットカラーモードを作成します。

Input Color Format (入力カラー形式)

- ビデオ入力モードは次のように設定できます：
- **RGB:** モニターがUSB タイプC、DP、HDMIケーブルを使用してコンピュータ（またはDVDプレーヤー）に接続されている場合は、このオプションを選択します。
 - **YPbPr:** DVDプレーヤーがYPbPr出力のみに対応している場合は、このオプションを選択します。



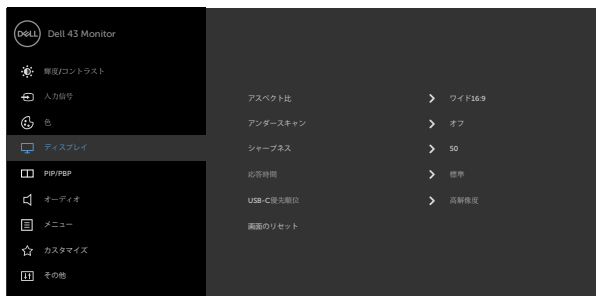
Reset Color (色のリセット)

モニターのカラー設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。



Display (ディスプレイ)

Display (ディスプレイ)メニューを使用して画像を調整します。



Aspect Ratio (アスペクト比)

画像比率をWide (ワイド) 16:9, 4:3, 5:4に調整します。

Underscan (アンダースキャン)

On (オン)を選択すると、パネルエッジ上で情報が欠落する問題をカバーするために2%縮小されます。

Sharpness (シャープネス)

画像をよりシャープまたはソフトに見せます。

📍または📍を使用して、シャープネスを「0」から「100」に調整します。

Response Time (応答時間)

Response Time (応答時間)とNormal (標準)またはFast (高速)を設定できます。

USB-C Prioritization (USB-C優先順位)

USB タイプCポート/DisplayPortを使用する場合、高解像度 (High Resolution (高解像度)) または高速 (High Data Speed (高データ速度)) でデータを転送する際の優先順位を指定することができます。

注釈：PCにバッテリーパックが内蔵されておらず、モニターのUSB タイプCポート (Dell OptiPlex Ultraデスクトップなど) から直接電源を供給している場合、一時的にUSB-C Prioritization (USB-C優先順位) を変更するとモニターからPCへの電源供給が中断されます。USB-C Charging (USB-C充電) をOn During Power Off (電源オフ時にオン) に設定して、USB-C Charging (USB-C充電) がOn During Power Off (電源オフ時にオン) に設定されている時のUSB-C Prioritization (USB-C優先順位) の設定を参照してください。

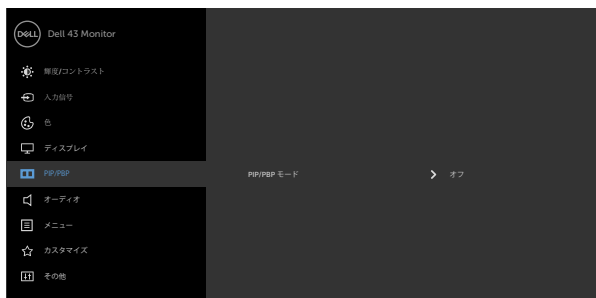
Reset Display (画面のリセット)

ディスプレイ設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。



PIP/PBP

より多くの画像を同時に視聴できます。



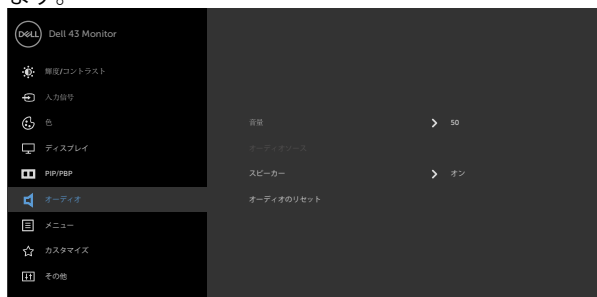
PIP/PBP Mode (PIP/PBPモード)	PIPまたはPBP（ピクチャー・バイ・ピクチャー）モードを調整します。 オフを選択すれば、この機能を無効にできます。
PIP/PBP Source (PIP/PBPソース)	PIP/PBPを選択した場合にのみ適用されます。
Window1 Source (Window1ソース)	Window 1ソースを選択します。
Window2 Source (Window2ソース)	Window 2ソースを選択します。
Window3 Source (Window3ソース)	Window 3ソースを選択します。
Window4 Source (Window4ソース)	Window 4ソースを選択します。
PIP Size (PIPサイズ)	小または大のPIPウィンドウサイズを選択します。
PIP Position (PIP位置)	PIPサブウィンドウの位置を選択します。  または  を使用して、左上、右上、右下、または左下を選択します。

アイコン
メニューとサブ
メニュー 説明



Audio (オーディオ)

オーディオ設定メニューを使用してオーディオ設定を調整します。



Volume (音量) スピーカーの音量を上げることができます。

↑または↓ ボタンを使用して、スピーカーの音量を「0」から「100」に調整します。

Audio Source (オーディオソース) PIP/PBP をオンにしている場合のみ適用されます。

Speaker (スピーカー) スピーカー機能の **On (オン)** または **Off (オフ)** を選択します。

Reset Audio (オーディオのリセット) モニターのオーディオ設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。



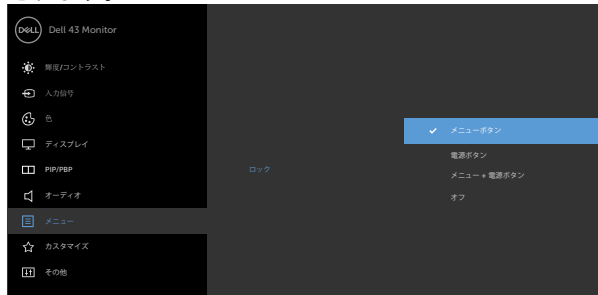
Menu (メニュー)

このオプションを選択して、OSDの言語やメニューが画面に表示される長さなどのOSDの設定を調整します。



Language (言語) 8つある言語の中の1つの言語にOSDディスプレイを設定します。(英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語または日本語)。

アイコン	メニューとサブメニュー	説明
	Transparency (透明度)	▲と▼（最小0/最大100）を使用してメニューの透明度を変更する場合は、このオプションを選択します。
	Timer (タイマー)	OSD Hold Time (OSD表示時間) ：ボタンを押した後、OSDがアクティブ状態を維持する長さを設定します。 ▲と▼ボタンを使用してスライダーを動かし、5秒～60秒の間で1秒単位で調整します。
	Lock (ロック)	調整機能へのユーザーアクセスを制限します。ボタンがロックされます。

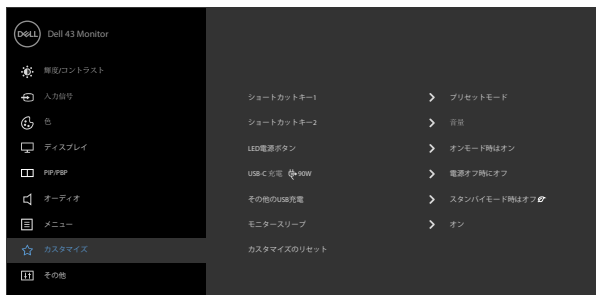


- **Menu Buttons (メニューボタン)**：OSDを通してメニューボタンをロックします。
- **Power Button (電源スイッチ)**：OSDを通して電源ボタンをロックします。
- **Menu + Power Buttons (メニュー+電源ボタン)**：OSDを通して、すべてのメニューボタンと電源ボタンをロックします。
- **Disable (無効にする)**：電源ボタンの左側にあるⓧ ボタンを4秒間長押しします。

Reset Menu (メニューのリセット) メニュー設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。



**Personalize
(個人用設定)**



Shortcut key 1 (ショートカットキー1) **Preset Modes (プリセットモード)、Brightness/Contrast (輝度/コントラスト)、Input Source (入力ソース)、Aspect Ratio (アスペクト比)、PIP/PBP Mode (PIP/PBPモード)、Volume (音量)**から選択して、ショートカットキー1として設定します。

Shortcut key 2 (ショートカットキー2) **Preset Modes (プリセットモード)、Brightness/Contrast (輝度/コントラスト)、Input Source (入力ソース)、Aspect Ratio (アスペクト比)、PIP/PBP Mode (PIP/PBPモード)、Volume (音量)**から選択して、ショートカットキー2として設定します。

Power Button LED (LED電源ボタン) 電源ライトの状態を設定してエネルギーを節約できます。

USB-C Charging 90W (USB-C充電 90W) モニターが電源オフモードの時の**USB-C Charging 90W (USB-C充電 90W)**充電機能を有効または無効にできます。

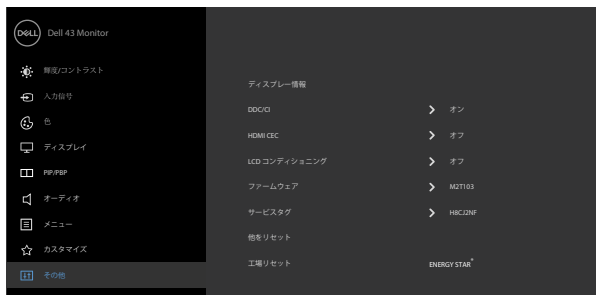
Other USB Charging (その他のUSB充電) モニターがスタンバイモードの時の**Other USB Charging (その他のUSB充電)**機能を有効または無効にできます。

Monitor Sleep (モニタースリープ) この機能をオフにするには、無効を選択します。

Reset Personalization (カスタマイズのリセット) 個人用設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。



Others (その他)



DDC/CI、LCD conditioning (LCD調節)などのOSD設定を調整する場合は、このオプションを選択します。

Display Info (ディスプレイ情報)

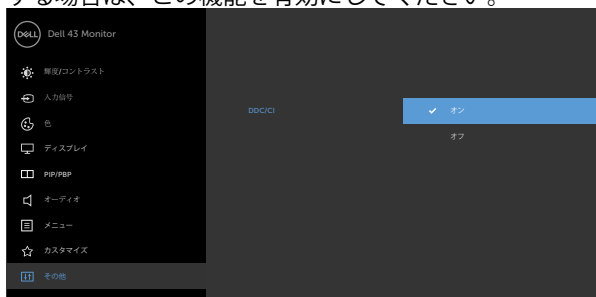
モニターの現在の設定を表示します。

DDC/CI

DDC/CI (ディスプレイデータチャンネル/コマンドインターフェイス) を使用すると、コンピューターのソフトウェアを使用してモニター設定を調整できます。

この機能をオフにするには、**Off (オフ)**を選択します。

ユーザーの使用感とモニターのパフォーマンスを最適の状態にする場合は、この機能を有効にしてください。



HDMI CEC

HDMI CEC機能をオンまたはオフにできます。

アイコン	メニューとサブメニュー	説明
------	-------------	----

LCD Conditioning (LCD コンディショニング)

残像によるささいな問題を軽減するのに役立ちます。残像の程度によっては、プログラムの実行に時間がかかる場合があります。On (オン)を選択してプロセスを開始します。



Firmware (ファームウェア)

ファームウェアのバージョン。

Service Tag (サービスタグ)

サービスタグを表示します。サービスタグは一意的英数字識別子であり、Dell側で製品の仕様を識別して保証情報にアクセスできるようにするためのものです。

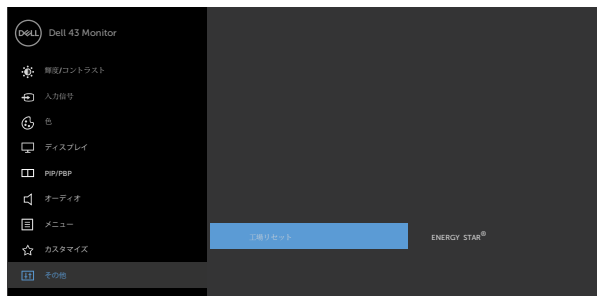
注釈：サービスタグは、カバーの背面に貼られたラベルにも印刷されています。

Reset Others (他をリセット)

DDC/CIなどの他の設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。

Factory Reset (工場リセット)

すべてのプリセット値を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。この設定はENERGY STAR®テストの設定でもあります。



OSD警告メッセージ

モニターが特定の解像度モードに対応していない場合に、次のメッセージが表示されます：

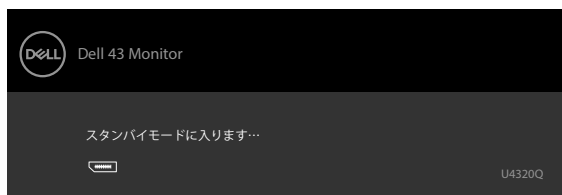


これは、モニターがコンピュータから受信する信号と同期できないことを意味しています。このモニターでアドレス可能な水平および垂直周波数範囲については、[モニターの仕様](#)を参照してください。推奨されるモードは3840 x 2160です。

DDC/CI機能が無効になる前には、次のメッセージが表示されます：



ディスプレイがスタンバイモードに入ると、次のメッセージが表示されます：

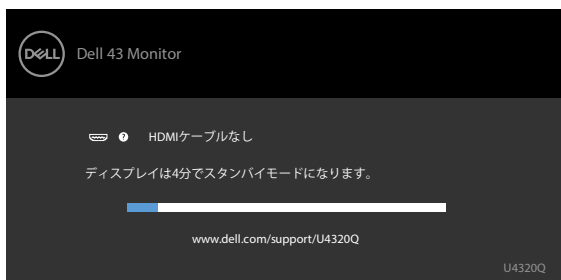


[OSD](#)にアクセスする場合は、コンピュータをオンにしてモニターをウェイクアップ状態にしてください。

電源ボタン以外のボタンを押すと、選択した入力に応じて次のメッセージが表示されます：



HDMI、DP、USB タイプC入力のいずれかが選択されており、それに対応するケーブルが接続されていない場合、次に示されているようなダイアログボックスが表示されます：



または

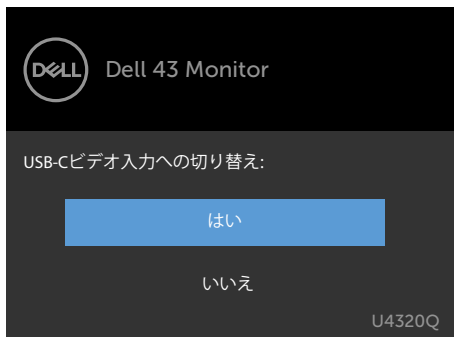


または



DP代替モードに対応したケーブルがモニターに接続されている場合、次の条件下ではメッセージが表示されます：

- **Auto Select for USB-C (USB-Cの自動選択)**が**Prompt for Multiple Inputs (複数入力のプロンプト)**に設定されている場合。
- DPケーブルがモニターに接続されている場合。



USB-C Charging (USB-C充電)  **90WがOff During Power Off (電源オフ時にオフ)**に設定されている場合：

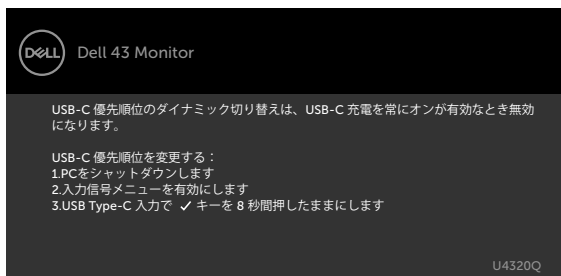
- **Display (ディスプレイ)** 機能内で、OSD項目にある**USB-C Prioritization (USB-優先順位)**で**High Resolution (高解像度)**を選択すると、次のメッセージが表示されません。



- **Display (ディスプレイ)** 機能内で、OSD項目にある**USB-C Prioritization (USB-優先順位)**で**High Data Speed (高データ速度)**を選択すると、次のメッセージが表示されます。



Display (ディスプレイ) 機能内で、OSD項目にある**USB-C Charging (USB-C充電) ⇄ 90Wが On During Power Off (電源オフ時にオン)**に設定されている場合、Display (ディスプレイ) 機能でOSD項目にある**USB-C Prioritization (USB-優先順位)**で**High Resolution (高解像度)**または**High Data Speed (高データ速度)**を選択すると、次のメッセージが表示されます：



USB-C Charging (USB-C充電) ⇄ 90Wが**Off During Power Off (電源オフ時にオフ)**に設定されており、**USB-C Prioritization (USB-優先順位)**が**High Data Speed (高データ速度)**に設定されている場合：

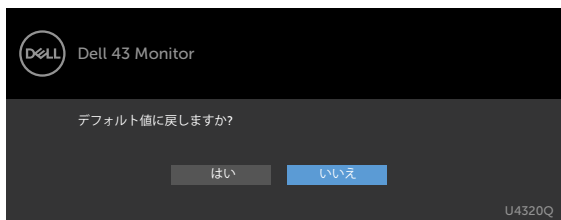
- **Other (その他)** の機能でOSD項目にある**Factory Reset (工場出荷時の状態にリセット)**を選択すると、次のメッセージが表示されます：



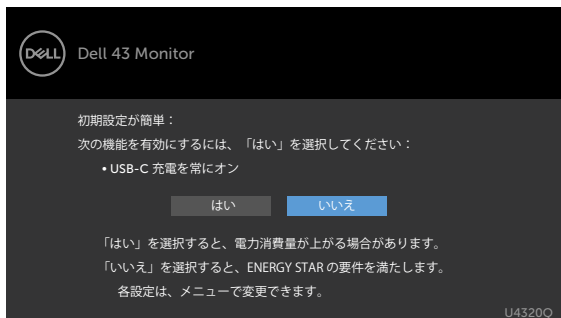
- **Display (ディスプレイ)** 機能でOSD項目にある**Display Reset (ディスプレイのリセット)**を選択すると、次のメッセージが表示されます：



USB-C Charging (USB-C充電) が 90W が On During Power Off (電源オフ時にオン) に設定されており、USB-C Prioritization (USB-優先順位) が High Data Speed (高データ速度) に設定されている場合、Other (その他) の機能で OSD 項目にある Factory Reset (工場出荷時の状態にリセット) を選択すると、次のメッセージが表示されます：



「はい」を選択してデフォルト設定にリセットすると、次のメッセージが表示されます：



「いいえ」を選択して、2回目の **Factory Reset (工場出荷時の状態にリセット)** を実行すると、次のメッセージが表示されます：



パーソナライズ機能内のスタンバイモードにある OSD 項目のオフを選択すると、次のメッセージが表示されます。



輝度レベルをデフォルトレベルの75%以上に調整すると、次のメッセージが表示されず：



詳細については[トラブルシューティング](#)を参照してください。

トラブルシューティング

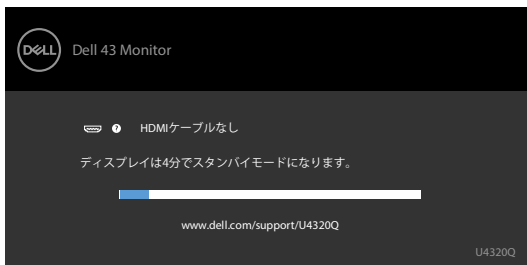
⚠ 警告：このセクションの手順を開始する前に、**安全上の注意**に従ってください。

セルフテスト

モニターには、モニターが正常に機能しているかどうかを確認できるセルフテスト機能が備わっています。モニターとコンピュータが適切に接続されているにもかかわらず、モニター画面が暗い状態のままの場合は、次の手順を実行してモニターのセルフテストを行ってください：

- 1 コンピュータとモニターの両方の電源を切ります。
- 2 コンピュータの背面からビデオケーブルを外します。適切なセルフテスト動作を確保するため、コンピュータの背面にあるすべてのデジタルケーブルとアナログケーブルを外してください。
- 3 モニターの電源を入れます。

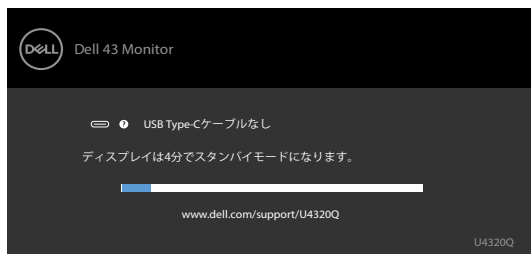
モニターがビデオ信号を検出できなくても正常に動作している場合は、ダイアログボックスが画面上に表示されます（黒いバックグラウンドの上に表示）。セルフテストモード中、電源LEDは白いままです。また、選択した入力に応じて、以下に示されているダイアログのいずれかが画面上に連続で表示されます。



または



または




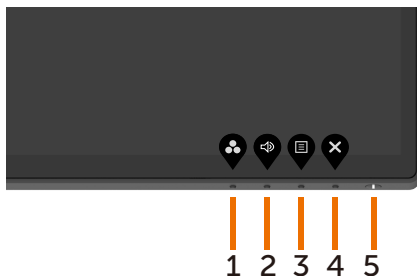
- 4 このダイアログボックスは、ビデオケーブルが切断されたり損傷したりした場合、通常のシステム動作中にも表示されます。
- 5 モニターの電源を切り、ビデオケーブルを再び接続してから、コンピュータとモニターの両方の電源を入れます。

前記の手順を実行してもモニター画面が空白のままの場合は、ビデオコントローラーとコンピュータを確認してください。モニターは正常に機能しています。



内蔵の診断機能

モニターには、発生している画面の異常がモニターに固有の問題なのか、コンピュータやビデオカードに固有の問題なのかを判断するのに役立つ診断ツールが内蔵されています。

 **注釈：**内蔵診断は、ビデオケーブルが外されており、モニターがセルフテストモードになっている場合のみ実行できます。



内蔵診断を実行する方法：



- 1 画面が清潔であることを確認します（画面の表面にほこりや粒子がついていない）。
- 2 コンピュータまたはモニターの背面からビデオケーブルを外します。モニターがセルフテストモードに入ります。
- 3 **ボタン4**を4秒間押し続けます。システムにOSDメッセージが表示されます。  を選択して  を押し、システムがBIDモードに入ります。グレー画面が表示されます。
- 4 画面に異常がないか慎重に確認します。
- 5 フロントパネルの**ボタン1**をもう一度押します。画面の色が赤に変わります。
- 6 ディスプレイに異常がないか調べます。
- 7 手順5と6を繰り返して、緑、青、黒、白、およびテキスト画面のディスプレイを確認します。

テキスト画面が表示されたら、テストは完了です。終了するには、もう一度**ボタン1**を押します。


内蔵診断ツールを使用しても画面に異常が検出されない場合、モニターは正常に機能しています。ビデオカードとコンピュータを確認してください。

USB-C Charging (USB-C充電) がOn During Power Off (電源オフ時にオン) に設定されている時のUSB-C Prioritization (USB-C優先順位) の設定



USB-C Charging (USB-C充電) がOn During Power Off (電源オフ時にオン) に設定されている場合、PCの電源が切れている時にのみ、モニターのUSB-C優先順位の設定を指定できます。

- 1 PCの電源が切れていることを確認します。
- 2 電源ボタン以外のいずれかの操作ボタンを押して、**Input Source (入力ソース)**のショートカットメニューを表示します。
- 3  または  ボタンを押して**USB Type-C (USB タイプC)**をハイライトします。



- 4  ボタンをおよそ8秒間ほど長押しします。
- 5 **USB-C Prioritization (USB-C優先順位)**を設定するメッセージが表示されます。

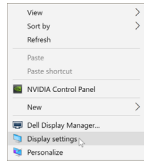


- 6  または  ボタンを使用して転送する際の優先順位を指定します。
- 7 設定内容は、PCの電源を入れた後に有効になります。

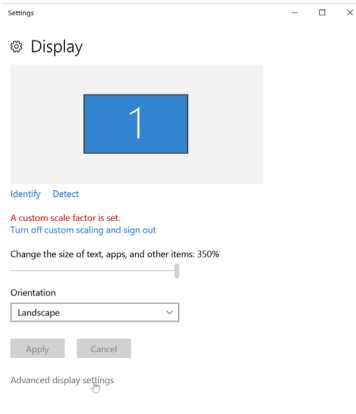
PIP/PBPモード

モニターにフル画面で表示されない場合や、解像度がPIP/PBPモードのネイティブ解像度でない場合、グラフィックカードの動作が原因である可能性があります。以下の手順を実行してください。

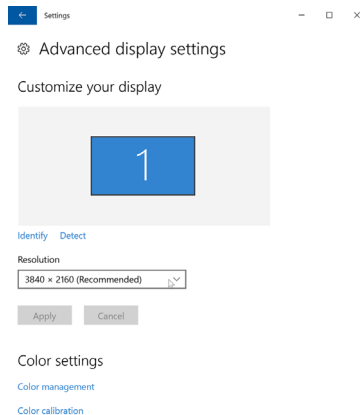
- 1 デスクトップで右クリックし、**Display settings (ディスプレイ設定)**を選択します。



- 2 **Advanced display settings (詳細ディスプレイ設定)**を選択します。



- 3 グラフィックカードに従って推奨される解像度を選択し、**Apply (適用)**をクリックします。



よくある問題

以下の表で、発生する可能性のある、よくあるモニター上の問題に関する一般的な情報と、考える解決方法について説明します。

よくある問題	経験する事項	考える解決方法
ビデオ/電源がないLEDがオフの状態	画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">・モニターとコンピュータを接続するビデオケーブルが、適切かつしっかりと接続されていることを確認します。・他の電気機器を使用して、コンセントが適切に機能しているか確認します。・電源ボタンをしっかりと最後まで押しているか確認します。・入力ソースメニューで正しい入力ソースが選択されているか確認します。
ビデオ/電源がないLEDがオン の状態	画像が表示されないか、輝度がない	<ul style="list-style-type: none">・OSDを使用して、輝度とコントラストを増やします。・モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。・ビデオケーブルコネクタのピンが曲がったり折れたりしていないか確認します。・内蔵診断機能を実行します。・入力ソースメニューで正しい入力ソースが選択されているか確認します。
HDMI/ DisplayPort/USB タイプCポート にビデオがない	ポートにドングル/ドッキングデバイスに接続すると、ラップトップからThunderboltケーブルを抜き差しするときにビデオが表示されない	<ul style="list-style-type: none">・HDMI/DisplayPort/USBタイプCケーブルをドングル/ドッキングデバイスから外し、その後ドッキングのThunderboltケーブルをラップトップに差し込みます。7秒後にHDMI/DisplayPort/USBタイプCケーブルを差し込みます。
ピクセルが欠けている	液晶画面に斑点がある	<ul style="list-style-type: none">・電源サイクル操作でオン、オフにします。・永続的にオフ状態のピクセルは、液晶技術で発生する可能性のある自然な欠陥です。・Dellモニターの品質とピクセルポリシーに関する詳細については、Dellサポートサイト (www.dell.com/support/monitors) を参照してください。
張り付いたピクセル	液晶画面に明るい斑点がある	<ul style="list-style-type: none">・電源サイクル操作でオン、オフにします。・永続的にオフ状態のピクセルは、液晶技術で発生する可能性のある自然な欠陥です。・Dellモニターの品質とピクセルポリシーに関する詳細については、Dellサポートサイト (www.dell.com/support/monitors) を参照してください。

よくある問題	経験する事項	考えうる解決方法
輝度の問題	画像が暗すぎる、または明るすぎる	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターを工場出荷時の設定にリセットします。 ・OSDを使用して、輝度とコントラストを調整します。
安全に関連した問題	煙または火花が目で見える	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルシューティングはしないでください。 ・至急Dellまでお問い合わせください。
一時的に停止する問題	モニターの誤作動でオン&オフになる	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターとコンピュータを接続するビデオケーブルが、適切かつしっかりと接続されているか確認します。 ・モニターを工場出荷時の設定にリセットします。 ・モニターのセルフテスト機能チェックを実行して、セルフテストモードでも一時的に停止する問題が発生するか確認します。
色が欠けている	画像に欠けた色がある	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターのセルフテストを実行します。 ・モニターとコンピュータを接続するビデオケーブルが、適切かつしっかりと接続されているか確認します。 ・ビデオケーブルコネクタのピンが曲がったり折れたりしていないか確認します。
色に誤りがある	画像の色が良くない	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーションに応じて、OSDのColor (カラー)メニューのPreset Modes (プリセットモード)設定を変更します。 ・OSDのColor (カラー)メニューのCustom Color (カスタムカラー)にあるR/G/B値を調整します。 ・OSDのColor (カラー)メニューで、Input Color Format (入力カラー形式)をPC RGBまたはYPbPrに変更します。 ・内蔵診断機能を実行します。
モニターに長時間映された静止画像からの残像	表示された静止画像からのわずかな影が画面に表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・画面がアイドル状態になってから数分後に、画面がオフになるように設定します。これらの設定は、Windowsの電源オプションまたはMacの省エネルギー設定で調整できます。 ・ダイナミックに変わるスクリーンセーバーを使用することもできます。

製品に固有の問題

問題	経験する事項	考えうる解決方法
画面の画像が小さすぎる	画像は画面の中央に表示されるが、表示エリア全体に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ・OSDのDisplay (ディスプレイ)メニューにあるAspect Ratio (アスペクト比)設定を確認します。 ・モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
フロントパネルにあるボタンでモニターを操作できない	OSDが画面に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターの電源を切り、モニターの電源ケーブルを抜いてから、再び差し込み、モニターの電源を入れます。

問題	経験する事項	考える解決方法
ユーザーコントロールを押しても入力信号がない	画像が表示されない、LEDライトは白色	<ul style="list-style-type: none"> ・信号ソースを確認してください。マウスを動かすか、キーボードのキーを押して、コンピューターがパワーセーブモードになっていないか確認します。 ・信号ケーブルが正しく接続されているか確認します。必要に応じて、信号ケーブルを接続し直します。 ・コンピューターまたはビデオプレーヤーをリセットします。
画像が画面全体に表示されない	画像が画面の高さまたは幅全体を埋めることができない	<ul style="list-style-type: none"> ・DVDのビデオ形式（アスペクト比）が異なるために、モニターにフル画面で表示される場合があります。 ・内蔵診断機能を実行します。
コンピューター、ラップトップなどにUSBタイプC接続を使用すると画像が表示されない	黒い画面	<ul style="list-style-type: none"> ・デバイスのUSBタイプCインターフェースがDP代替モードに対応しているか確認してください。 ・デバイスが65W以上の電力充電を必要としないか確認します。 ・デバイスのUSBタイプCインターフェースは、DP代替モードに対応していません。 ・Windowsを投影モードに設定してください。 ・USBタイプCケーブルが損傷していないか確認します。
コンピューター、ラップトップなどにUSBタイプCで接続すると充電されない	充電されない	<ul style="list-style-type: none"> ・デバイスが5 V/9 V/15 V/20 V充電プロファイルのいずれかに対応しているか確認してください。 ・ラップトップが65W以上の電源アダプターを必要としないか確認します。 ・ラップトップに65W以上の電源アダプターが必要な場合、USBタイプC接続では充電できません。 ・Dellに認定されているアダプター、または製品に付属のアダプターのみを使用してください。 ・USBタイプCケーブルが損傷していないか確認します。
コンピューター、ラップトップなどにUSBタイプCで接続すると途切れで充電される	断続的な充電	<ul style="list-style-type: none"> ・デバイスの最大消費電力が65W以上ないか確認します。 ・Dellに認定されているアダプター、または製品に付属のアダプターのみを使用してください。 ・USBタイプCケーブルが損傷していないか確認します。
PCへにDPで接続すると画像が表示されない	黒い画面	<ul style="list-style-type: none"> ・お使いのグラフィックスカードが認定を受けているDP基準（DP 1.1aまたはDP 1.4）はどれかを確認します。最新のグラフィックスカードドライバをダウンロードおよびインストールしてください。 ・DP 1.1aグラフィックスカードの中には、DP 1.4モニターに対応していないものがあります。OSDメニューを開き、「入力ソース」選択で、DPを選択する\heartsuitキーを8秒間押し続けて、モニター設定をDP 1.4からDP 1.1aに変更します。

安全に関する注意事項

光沢のあるベゼルを備えたディスプレイの場合、ベゼルによって周囲の光や明るい表面からの乱反射が引き起こされる可能性があるため、ディスプレイの配置について考慮する必要があります。

⚠ 警告：本文書に指定されている記述以外の操作、調整、または手順をおこなった場合、衝撃や電氣的危険、および/または機械的危険にさらされる可能性があります。
安全に関する注意事項情報については、安全、環境、規制に関する情報（SERI）を参照してください。

FCC通知（米国のみ）およびその他の規制情報

FCC通知およびその他の規制情報については、www.dell.com/regulatory_compliance の規制対応ウェブサイトを参照してください。

Dellへのお問い合わせ

米国のお客様は、800-WWW-DELL (800-999-3355) にお問い合わせください

📎 注釈：利用できるインターネット接続がない場合、購入時の請求書、梱包票、請求書、またはDell製品カタログにも連絡先情報が記載されています。

Dellでは、複数の方法で、オンラインおよび電話によるサポートとサービスを提供しています。ご利用いただける方法は、国や製品によって異なり、お住まいの地域ではご利用いただけないサービスもあります。

オンライン上のモニターサポートに関するコンテンツについては：

www.dell.com/support/monitors を参照してください。

販売、テクニカルサポート、またはカスタマーサービス上の問題についてDellにお問い合わせいただく場合は：

- 1 www.dell.com/support にアクセスしてください。
- 2 ページの右下にある国地域選択ドロップダウンメニューでお住まいの国または地域を確認します。
- 3 国ドロップダウンメニューの横にある**Contact Us (お問い合わせ)**をクリックします。
- 4 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートへのリンクを選択します。
- 5 都合の良いDellへの連絡方法を選択します。

エネルギーラベルと製品情報シートに関するEU製品データベース

U4320Q: <https://eprel.ec.europa.eu/qr/344908>

モニターのセットアップ

ディスプレイ解像度を 3840 x 2160 (最大) に設定する

最良のパフォーマンスを得るには、以下の手順を実行して、ディスプレイ解像度を**3840 x 2160**ピクセルに設定してください：

Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1の場合：

- 1 Windows 8 または Windows 8.1 の場合のみ、デスクトップタイルを選択して、クラシックデスクトップに切り替えます。Windows Vista および Windows 7 の場合は、この手順は省略してください。
- 2 デスクトップを右クリックして**Screen Resolution (画面解像度)**をクリックします。
- 3 画面解像度のドロップダウンリストをクリックして、**3840 x 2160**を選択します。
- 4 **OK**をクリックします。


Windows 10の場合：

- 1 デスクトップを右クリックして**Display Settings (ディスプレイ設定)**をクリックします。
- 2 **Advanced display settings (詳細ディスプレイ設定)**をクリックします。
- 3 **Resolution (解像度)**のドロップダウンリストをクリックして、**3840 x 2160**を選択します。
- 4 **Apply (適用)**をクリックします。

オプションに推奨される解像度が表示されない場合、グラフィックスドライバーを更新する必要がある可能性があります。使用しているコンピュータシステムに最も当てはまるシナリオを以下から選択し、所定の手順に従ってください。

Dell コンピュータ

- 1 www.dell.com/support にアクセスし、サービスタグを入力して、お使いのグラフィックスカード用の最新ドライバーをダウンロードします。
- 2 お使いのグラフィックスアダプター用のドライバーをインストールしたら、もう一度解像度を**3840 x 2160**に変更してみてください。

 **注釈：**解像度を**3840 x 2160**に設定できない場合は、Dellにお問い合わせいただき、この解像度に対応するグラフィックスアダプターについてご相談ください。


Dell以外のコンピュータ

Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1の場合：

- 1 Windows 8 または Windows 8.1 の場合のみ、デスクトップタイルを選択して、クラシックデスクトップに切り替えます。Windows Vista および Windows 7 の場合は、この手順は省略してください。
- 2 デスクトップを右クリックして **Personalization (個人用設定)** をクリックします。
- 3 **Change Display Settings (ディスプレイ設定の変更)** をクリックします。
- 4 **Advanced Settings (詳細設定)** をクリックします。
- 5 ウィンドウ上部の記載の中から、お使いのグラフィックスコントローラーのサプライヤーを特定してください (NVIDIA、AMD、Intel など)。
- 6 最新ドライバーについては、グラフィックスカード会社のウェブサイトを参照してください (例：www.amd.com または www.nvidia.com)。
- 7 お使いのグラフィックスアダプター用のドライバーをインストールしたら、もう一度解像度を **3840 x 2160** に変更してみてください。

Windows 10の場合：

- 1 デスクトップを右クリックして **Display Settings (ディスプレイ設定)** をクリックします。
- 2 **Advanced display settings (詳細ディスプレイ設定)** をクリックします。
- 3 **Display adapter properties (ディスプレイアダプタープロパティ)** をクリックします。
- 4 ウィンドウ上部の記載の中から、お使いのグラフィックスコントローラーのサプライヤーを特定してください (NVIDIA、AMD、Intel など)。
- 5 最新ドライバーについては、グラフィックスカード会社のウェブサイトを参照してください (例：www.amd.com または www.nvidia.com)。
- 6 お使いのグラフィックスアダプター用のドライバーをインストールしたら、もう一度解像度を **3840 x 2160** に変更してみてください。

 **注釈：**推奨される解像度に設定できない場合は、コンピュータの製造元に問い合わせるか、このビデオ解像度に対応するグラフィックスアダプターの購入をご検討ください。

メンテナンスガイドライン

モニターのクリーニング

- ⚠ **警告**：モニターを清掃する前に、コンセントからモニターの電源ケーブルを外してください。
- ⚠ **注意**：モニターを清掃する前に、**安全に関する注意事項**を読み、記載されている指示に従ってください。

ベストプラクティスを実践するため、モニターの開梱、清掃、または取り扱い中は、以下に記載されているリストの指示に従ってください：

- ・帯電防止画面を清掃するには、柔らかく清潔な布を水で軽く湿らせてください。可能であれば、帯電防止コーティング用の特別な画面クリーニング用ティッシュや液剤を使用してください。ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨洗浄剤、または圧縮空気は使用しないでください。
- ・軽く湿らせた柔らかい布を使用してモニターを清掃します。モニターに乳白色の膜が残る洗剤もあるため、洗剤は一切使用しないでください。
- ・モニターの開梱時に白い粉がついた場合は、布で拭いてください。
- ・暗めの色のモニターは、明るい色のモニターよりも傷が付きやすく、白い傷が表れることがあるため、モニターの取り扱いには注意してください。
- ・モニターで最良の画像品質を維持するため、ダイナミックに変わるスクリーンセーバーを使用し、使用しない時にはモニターの電源を切るようにしてください。